

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (  新規  拡充  縮小  休止・廃止  現状維持 )

1 事務事業の基本情報										整理番号	028											
事務事業名	包括的支援事業費			補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単			終期	<input type="checkbox"/> 決まっている ( 年度まで ) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない		予算科目	区分	介護保険特別会計	款	03	項	03	目	01	事業	02	
担当部	保健福祉部	担当課	高齢福祉課		担当係	支援						係										
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 ( 名称 : 常総市高齢者プラン )										根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 ( 名称 : 介護保険法, 介護保険法施行令, 介護保険法施行規則, 地域支援事業実施要綱 ) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 ( 名称 : 地域包括支援センターの設置運営について(厚労省通知) ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則 ( 名称 : 常総市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施にかかる基準等を定める条例 等 )										

2 事務事業の目的

⇒ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	高齢者に関する様々な相談に対応する「総合相談支援業務」について、年々相談件数が増加(年間2,000件以上)している。平成29年1月から、地域の相談窓口として市内6か所、休日・夜間の対応窓口として1か所業務委託を開始したほか、平成30年度から地域包括支援センター内の相談窓口を支援係に一本化して対応している。課題としては、相談件数が増えていることに加え、緊急性や危険性が高い事例も増えていることから、長期にわたって継続して訪問を行う必要があり、職員の負担が増え続けている。	誰・何を対象に	市民(高齢者に関する相談)	望ましい状態	高齢者が安心して生活を続けられるようにするためには、介護保険サービスの充実だけでなく、地域のさまざまな社会資源を活用した支援が必要である。総合相談・支援を通して関係機関や地域とのネットワークを構築し、高齢者に対して横断的・多面的に支援していくことが、安心して生活するための望ましい形につながっていくと考える。
どのような方法・手順で	窓口対応、電話相談、訪問など 地域相談窓口6か所、休日・夜間相談窓口1か所 地域ケア個別会議72回(月1回×6か所×12カ月)				

3 事務事業の主たる成果指標

⇒ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	地域ケア個別会議開催数	単位	人/回	目標値	15	目標年次	2022	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	地域ケア個別会議は、より良い地域包括ケア実現のために、課題を的確に把握し、解決していくための手段を導き出す会議であり、個別課題解決、地域のネットワーク構築、地域の課題発見、資源開発、政策形成などについて、地域に住んでいる住民、地域で活動している企業など多職種が定期的に集まって話し合っている。この会議の目的を実現していくために必要なことは、多くの方がこの制度を理解し、参加していただくことである。よって、地域ケア個別会議への参加人数を指標とする。
-----	-------------	----	-----	-----	----	------	------	----	-------------------------------------	---

4 事務事業の実績 ①

⇒ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	2016年度				2017年度				2018年度							
	業務名		活動量		業務名		活動量		業務名		活動量					
事務事業を構成する主な業務	①	総合相談支援業務	年365日	①	総合相談支援業務	年365日	①	総合相談支援業務	年365日	①	総合相談支援業務	年365日				
	②	休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所)	年120日	②	高齢者総合相談窓口委託(市内6か所)	年245日	②	高齢者総合相談窓口委託(市内6か所)	年245日	②	休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所)	年120日				
	③	高齢者総合相談窓口委託(市内6か所 H29.1～)	年60日	③	休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所)	年120日	③	休日・夜間高齢者相談窓口(市内1か所)	年120日	③	地域ケア個別会議	年72回				
	④	地域包括支援センター運営協議会	年1回	④	地域ケア個別会議	年72回	④	地域ケア個別会議	年72回	④	地域ケア会議推進協議会	年1回				
	⑤			⑤	地域ケア会議推進協議会	年1回	⑤	地域ケア会議推進協議会	年1回	⑤						
	⑥			⑥			⑥			⑥						
	⑦			⑦			⑦			⑦						
	⑧			⑧			⑧			⑧						
	⑨			⑨			⑨			⑨						
	⑩			⑩			⑩			⑩						
	⑪			⑪			⑪			⑪						
	⑫			⑫			⑫			⑫						
	目標値に対する実績値		0	人/回	目標値に対する実績値		9.9	人/回	目標値に対する実績値		14.3	人/回				
決算額	計	4,401,824	円	内訳	特定財源		円	計	11,235,301	円	内訳	特定財源		円		
					一般財源	4,401,824	円					一般財源	11,235,301	円		
							72	円						186	円	
	(住民一人あたりの行政コスト)				(住民一人あたりの行政コスト)				(住民一人あたりの行政コスト)				(住民一人あたりの行政コスト)			

5 担当者評価 ②

⇒ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	平成30年度は包括支援センターとしての相談窓口のほか、委託している地域相談窓口、休日・夜間相談窓口、年間72回の地域ケア個別会議の開催により、年間2,000件以上の相談ケースに対応し、また、地域ケア会議推進協議会を1回開催し、それまでに受けた相談ケースの中から、市全体として検討すべき地域課題について、解決策や対応策についての検討を行っており、目標どおりの成果を上げたと言える。
問題点	相談を必要とする高齢者は年々増加し、高齢者のニーズや相談内容も多様化していくことが想定されるので、本事業の必要性はより高まっており、さらに、たびたび訪問を行ったり、長期間かかっていくケースもあることから、相談に対応する職員数を確保することが必要だと考える。また、地域ケア会議推進協議会で検討された地域課題について、速やかに課題を解決できるようにするために、政策形成から事業化までの流れを構築する必要があると考える。

6 担当部長及び担当課長評価 ③

⇒ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
評価理由	高齢化が進む中、高齢者のニーズ・相談内容が多様化し、相談件数も年々増加傾向にある。これらに対応するための事業として、今後進めていく必要がある。

7 実施計画 ④

⇒ 今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	2019年度				2020年度				2021年度									
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合相談支援業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問)</li> <li>・相談記録の管理</li> </ul> </li> <li>●高齢者総合相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、千の杜、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●休日・夜間高齢者相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●地域ケア個別会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など</li> <li>・自由参加のため報酬等は無し</li> <li>・月1回×6か所×12カ月＝年間72回開催</li> <li>・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施</li> <li>・第2層協議体としても活動を行う</li> </ul> </li> <li>●地域ケア会議推進協議会 年1～2回開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数は随時(参加委員には報償費あり)</li> <li>・地域ケア個別会議で検討されたケース等について、市全体の課題となりうる案件について対応を検討し、政策形成、事業化に結び付けていく</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合相談支援業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問)</li> <li>・相談記録の管理</li> </ul> </li> <li>●高齢者総合相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、千の杜、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●休日・夜間高齢者相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●地域ケア個別会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など</li> <li>・自由参加のため報酬等は無し</li> <li>・月1回×6か所×12カ月＝年間72回開催</li> <li>・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施</li> <li>・第2層協議体としても活動を行う</li> </ul> </li> <li>●地域ケア会議推進協議会 年1～2回開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数は随時(参加委員には報償費あり)</li> <li>・地域ケア個別会議で検討されたケース等について、市全体の課題となりうる案件について対応を検討し、政策形成、事業化に結び付けていく</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●総合相談支援業務                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターでの相談窓口(来庁、電話、訪問)</li> <li>・相談記録の管理</li> </ul> </li> <li>●高齢者総合相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6か所での日中の電話相談窓口(社協、GH香、千の杜、西部病院、訪問看護いしげ、GH舞夢)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●休日・夜間高齢者相談窓口委託                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内1か所での電話相談窓口(L・ハーモニー)</li> <li>・周知活動の徹底</li> </ul> </li> <li>●地域ケア個別会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 医療関係者、ケアマネ、民生委員、自治区長など</li> <li>・自由参加のため報酬等は無し</li> <li>・月1回×6か所×12カ月＝年間72回開催</li> <li>・個別ケースの対応検討、勉強会などを実施</li> <li>・第2層協議体としても活動を行う</li> </ul> </li> <li>●地域ケア会議推進協議会 年1～2回開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数は随時(参加委員には報償費あり)</li> <li>・地域ケア個別会議で検討されたケース等について、市全体の課題となりうる案件について対応を検討し、政策形成、事業化に結び付けていく</li> </ul> </li> </ul>								
成果指標	指標名	地域ケア個別会議開催数	単位	人/回	目標値	15.0	指標名	地域ケア個別会議開催数	単位	人/回	目標値	16.0	指標名	地域ケア個別会議開催数	単位	人/回	目標値	17.0
予算額	歳出	計		11,890		千円	歳出	計		11,890		千円	歳出	計		11,890		千円
		特定財源		9,156		千円		特定財源		千円		特定財源		千円				
	歳入	一般財源		2,734		千円	歳入	一般財源		11,890		千円	歳入	一般財源		11,890		千円
		計		11,890		千円		計		11,890		千円		計		11,890		千円

8 財務アドバイザーの見解

『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

9 行政改革懇談会(市民)の意見

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。今後高齢者がますます増加していくと予想されるため拡充はやむをえない。高齢者からの相談に対応できる職員の確保に期待する。また、関係機関や地域とのネットワークづくりは急務である。

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

高齢化が進み、社会環境が変わる中で高齢者のみの世帯や独居高齢者が増えていると思われる。その中で高齢者のニーズ・相談内容が多様化していくことは必然である。このため、支援体制の強化を行うためにも、事業の拡大も視野に入れ推進していく必要がある。

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ⑥

⇒ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容	
------	--